



2025 明治安田 J3 リーグ 第 35 節
11/9 (日) 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest

ガイナーレ鳥取

順位表 11/6現在 基本 34試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	八戸	69p	+24	44	20	H●	A●
2	栃木C	68p	+24	58	34	A●	
3	鹿児島	64p	+29	66	37	A●	H●
4	FC大阪	61p	+17	47	30	A△	
5	宮崎	61p	+16	56	40	H●	
6	北九州	53p	+7	40	33	H○	A○
7	金沢	53p	+6	46	40	H●	A●
8	奈良	52p	+5	45	40	A△	H△
9	栃木SC	49p	+1	34	33	H●	A○
10	岐阜	44p	-6	45	51	---	---
11	相模原	44p	-10	32	42	H△	A○
12	福島	44p	-12	51	63	A●	H●
13	鳥取	42p	-8	34	42	A●	
14	琉球	38p	-12	36	48	A●	H○
15	高知	37p	-17	40	57	H△	A○
16	松本	36p	-7	35	42	H△	A●
17	長野	35p	-17	29	46	A○	H○
18	群馬	34p	-10	45	55	A△	H○
19	讃岐	31p	-16	38	54	H○	A△
20	沼津	25p	-14	35	49	H○	A○

次回HomeGame

第36節 vs. 栃木シティ

11/15 (土) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ
イン

JR
岐阜駅

通算対戦成績	全19試合 (J2:6試合, J3:11試合, JFL:2試合) 岐阜10勝 / 鳥取7勝 / 2分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 3勝1分4敗			
直近の対戦結果	2025/03/23 鳥取 3-0 岐阜 J3 - 6 節 @ A x i s			
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/11/02 J3 - 34節 @カンセキ 栃木SC 1-2 岐阜	鳥取	2025/11/02 J3 - 34節 @県立丸亀 讃岐 0-1 鳥取
		2025/10/25 J3 - 33節 @長良川 岐阜 1-3 鹿児島		2025/10/26 J3 - 33節 @ A x i s 鳥取 1-4 宮崎
		2025/10/19 J3 - 32節 @ゴースタ 金沢 4-1 岐阜		2025/10/18 J3 - 32節 @白波スタ 鹿児島 3-1 鳥取

●いよいよ J3 リーグ 2025 シーズンも、最終盤を迎えることとなった。FC 岐阜は、10/25 (土) 第 33 節・ホームで鹿児島と対戦。しかし、序盤から相手の素早く強度の高いプレスでボールを奪われてカウンターを受けてしまう場面が続き、失点を繰り返してしまう。そして得点は前半 26 分の #40 平瀬大のヘッド 1 点で終わり、1-3 で敗戦。7 連勝の後に 2 連敗してしまう結果となった。続く 11/2 (日) 第 34 節・アウェイ栃木 SC 戦でも、自陣での連携ミスで PK を献上して、先制点を与えてしまう。その後も相手が優勢のまま試合が進むが、後半 33 分に #15 山田直輝のヘディングで弾かれたボールを #8 荒木大吾が押し込んで同点に追いつくと、後半 40 分には #97 福田晃斗が PA 外からゴール角を突いたシュートを撃って逆転。最後はクロスバーにも助けられて守り切り、2-1 で逆転勝利。連敗も 2 で止めることができた。この 2 試合の結果、FC 岐阜の順位は 11 位から 10 位に上昇。そして、残り 4 試合で 19 位・讃岐 (= J3・JFL 入れ替え戦出場が想定?) との勝点差を 13 にしたことで、完全に J3 残留を確定させることができた。一時は最下位に沈んだことを考えれば、まさに「V 字回復」と言って良い状況だろう。ただし、上位を見ると、6 位 (= プレーオフ出場圏)・北九州との勝点差は 9。一般的に 1 試合あたり縮められる勝点差は 1、つまり相当に追いつく可能性の低い差になっている。直上の 9 位・栃木 SC との勝点差も 5、こちらも追い抜くことはかなり困難だろう。一方で下位を見ると、14 位・琉球までが勝点差 6。J3 残留が掛かっている下位チームも勝点を積み上げており、ちょっと油断をすれば簡単に順位が入れ替わる。そして、岐阜の今季残りの対戦は、今節の鳥取 (13 位) が終われば、11/15 (土) 栃木 C (ホーム: 2 位)、11/23 (日) 宮崎 (アウェイ: 5 位)、11/29 (土) FC 大阪 (ホーム: 4 位) だ。現在プレーオフ圏内にいる上位チームとの試合ばかりで、今季最終盤でチームの底力を試されることになるだろう。本当に難しい対戦相手ばかりだが、最後まで諦めずに挑戦し続け、そして、ひとつでも多くの勝利を、勝点を、ゴールを積み重ねることが、現在のチームに求められているはずだ。可能性は低いかもしれないけれど、最後に結果はついてくるものだと思って、まずは目の前のこの試合に全力で集中して、勝利して欲しいと願うばかりだ。

さて、今節の対戦相手は、先述のとおりガイナーレ鳥取だ。昨季の最終順位は 13 位。今季は林健太郎監督 2 年目体制で、積み上げのシーズンとなるはずだったが、現在の順位は 13 位。直近 5 試合の成績は 2 勝 3 敗・6 得点 10 失点。ただし、その 3 敗の相手はすべて現在のプレーオフ圏内のチームだったことを考慮しなくてはならないだろう。

鳥取との (J3 での) 通算対戦成績は、岐阜の 6 勝 5 敗・16 得点 19 失点。昨季のホーム戦・7/28 (日) 第 28 節では、前半に自陣でのパスミスから失点し、攻撃は不調に終わり、11 試合未勝利の相手に 0-1 で敗戦。今季前半戦の対戦であるアウェイ・3/23 (日) 第 6 節では、攻撃の不調に加えて、後半に 3 失点を喫して 0-3 で敗戦。今節は、前回のリベンジを果たして、しっかりと勝ち切る試合を見せて欲しい。

鳥取で最も警戒すべき選手は、やはり #10 富樫佑太だろう。岐阜に 4 季 (2019 ~ 2022 年) 在籍していた当時は、大怪我をした影響もあってか、それほど活躍できなかったが、今は鳥取で 10 番を背負って 1 トップを任せられ、現在 8 得点。直近 5 試合でも 2 得点と、好調を維持している。彼の“凱旋”は、岐阜サポーターにとっても嬉しいことだが、今節は彼に仕事をさせないよう、岐阜の DF 陣の奮闘に期待したい。また、前回対戦では、鳥取の GK #31 高麗稜太から 1 点も奪うことができなかったが、今節は岐阜の FW 陣が素晴らしいゴールを奪うことを期待したい。一方の岐阜では、ルーキーイヤーから鳥取に 2 季 (2022 ~ 2023 年) 在籍していた #22 文仁柱の活躍に注目したい。

今季も残すところ 4 試合。そのすべての試合で、最後まで 90 分間ひたむきに走り続け、一戦必勝で貪欲に戦い、そして勝利を掴む姿を、僕ら FC 岐阜サポーターに見せて欲しい。そのために僕らは、この試合でも選手たちの背中をしっかりと後押しをしよう。最後まで、チャントや拍手で、タオルマフラーやフラッグで、選手たちを鼓舞しよう。そして今節も、選手たちと共に勝利の歓喜を分かち合い、万歳四唱を、そして“HYPER CHANT”を、このホームスタジアム・長良川に響き渡らせよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第 33 節】岐阜 1-3 鹿児島

●やはり先週の金沢といい、上位の壁は厚い……。連勝中出来ていたことが通用しなくなってきている。それでも前半のうちに同点に追い付いて、岐阜の時間帯もあっただけにハーフタイムでキッチリ修正されてしまったなと。特に 2 失点目のシーン、大勢でボールを奪いに行ったのに、それを交わされて前にボールを送られて茂木秀と 1 対 1 に。手には当てたけれど、それが精一杯……。あれが一番痛かったなあ。

ともかく上を狙うには、昇格を目指すにはまだまだ課題が山積だということがハッキリしたはず。来週からまた仕切り直し。プレーオフとかはもう考えずに、一つでも上の順位を目指して、そして来季に繋げられるように戦ってってもらえればと。

ところで長良川のピッチの豹変ぶりにビックリ……。おそらく前の週に開催された「ねんりんピック」の影響なんだろうな……。推察でしかないが、ピッチの上にシートを敷いて、その上から使われたりしてたんではないかと。遠くから見ると、芝が枯れてしまったようにも見えた。最悪これ芝の張り替えが必要なんではないだろうか。県の担当者もこうなる事は予測できたりしなかったのだろうか。(岐阜の誇り)

●前の試合で、金沢に「上位チームと岐阜との違い」を見せつけられてしまった。この反省を活かして、さらに上位の鹿児島には、どんな対策を講じてくるのか……。と僕は思っていたのだけど。試合序盤から、金沢ほどは迫力がないように見えたけど、鹿児島も素早く強度の高いプレスを仕掛けてくる。そして、それが目の前に来ってしまうと、ボールを持っている岐阜の選手たちは、ボールを運んでプレスを剥がすことも、激しい当たりに耐えてデュエルに勝つことも、残念ながらできない場面が多かった。ボールを奪われなかったとしても、焦ってパスミスをしたり、あるいは安易にボールを戻して、さらにプレスを掛けられて状況が悪化する、酷い展開になる場面を何度も見ることに。1 失点目も、出しどころに迷って中途半端に入れたスローインを相手に狙われて、奪われてカウンターの。その後、ちょっと立て直した岐阜が攻勢に出る場面が増えだして、前半 26 分には、CK の流れから再び上がったクロスに #40 平瀬大がヘッドで叩き込んで同点に！そして、同点のまま前半終了……。まではよかった。だけど、HT にきっちり修正してきた鹿児島に、岐阜の選手たちは対応しきれない。2 失点目は、中盤で 4 人も寄せたのにボールを奪えなかったのもミスだけど、抜け出されたとはいえ DF 2 人が戻って追いつくところで、なんで連携(役割分担)してゴールを死守できなかったのか、本当に残念な展開。3 失点目は自陣でビルドアップしようとしてボールを奪われて、やっぱりカウンターを浴びての失点。そして、後半の岐阜は 1 点を返すこともできず、1-3 での敗戦。シュート数は岐阜の 6 本に対して鹿児島は 16 本、一方でボール支配率は岐阜が 6 割強。岐阜がボールを「持つしかなくて」、鹿児島にカウンターを浴び続けていたのが、スタッツからも明らかだった。やっぱり、残念ながら今の岐阜は、プレーオフ争いをしているチームと比べると、まだプレーの強度が不足しているんだなと感じざるを得なかった。7 連勝中のチームでは前向きにやれていたことが、金沢との対戦で痛い目に遭って、再び後ろ向きになってしまったような感じだ。でも、ここで踏ん張らないと、またズルズルと敗戦を繰り返してしまうだろう。チーム全体での奮起を期待します。(ささたく)

●この試合も DAZN 観戦。連勝が始まってから現地で観ていなかったんで、一応、ゲンを担いでみたんだが、やっぱり、昇格争いをしているクラブはそんなに甘くはなかった。心配していた雨はさほどではなかったものの、やはり、少しは降ったらしい。観戦やピッチ・コンディションに影響はなかったみたいなんで、そこはよかった。ただ、雨が降らなくても、

あのピッチ状態はさすがにキツイよね。どうやら、数日前まで開催されていたイベントの影響らしい。ああいうのを見ると、やっぱり、専スタは必要だよなあ……。と嘆息。

それから、もうひとつ。やっぱり、長良川で緑以外、チームカラー以外の色彩が観客席に目立つのは、なんだか、しっくり来なかった。確かに「黒&金」というリミテッドはあったけれども、今回の色合いは、ね(個人の感想ですのでご容赦くださいませ)。

試合自体は完敗。自動昇格、少なくともプレーオフ圏内をキープしてるクラブの実力をまざまざと見せつけられました。

まあ、アノ 9 番がいなきゃ、もう少しなんとか……。とは思っ

けどね。オコの上位互換、かな。J3 では規格外。キックオフ直後から圧倒され、なんとか凌いでくれ〜という願いも空しく失点。ただ、その後はなんとかペースを掴み、追いついたまでは素晴らしかったんだけど、後半は試合開始直後の状況を作り出されて、結局、シュートまでいけなかった。鹿児島のよう、前からのプレスをやるんなら、試合を通じて、少なくとも、セーフティ・リードするまでやり続けるようにならないと昇格争いには加われないし、逆にああいうプレスをいなせるような連携、個人技が必要なんだな、と。大変、勉強させていただきました。

今節の結果で最下位はなくなった模様。プレーオフの目は昇降いずれも数字的には残っているけど、ほとんど無縁になったと思う。残り試合は『今、そこにある試合』だけに一喜一憂出来るハズ。嬉しいような、悲しいような……。 (ぐん、)

●金沢戦に続いての完敗。昨今のファンタジー風味のゲームやマンガに喩えるなら『ダンジョンの塔の攻略』。入口のダンジョンで苦戦するパーティー。リーダーが交代したらとたんに覚醒、魔物をばったばったとなぎ倒し、奥にあった鉄の重い扉を開けて 1 つ上の層に上がったなら、そこには下位層にはいなかった強いレベルの魔物がうようよしておりました、とさ。「上位層には歯が立たないとか言うな」という言説もあるけれど、実際にそうなんだからしょうがない(苦笑)。鹿児島も前半は綻びもあった。あったから同点に出来て、勝ち越しのチャンスもあった。でも、後半になったら全部繕われてしまった。あれだけキチンと「攻撃のためにする守備」を徹底されると厳しい……。残念ながらあの守備陣相手では火力が足りない。何度か書いてるかと思うけど第一次大戦時のイギリス軍菱形戦車のように塹壕守備陣を踏み潰して行くオコの不在が(悪い意味で)効いてしまっている。かくして、岐阜の昇格プレーオフ参戦の可能性は著しく低くなった。まあ、そもそもが「望外」の話だったのだから、それはいい。残りカードは昇格争い真っ只中の相手が多い。場を荒らしてやろうじゃない。シーズンが終わった時、自動昇格圏やプレーオフ圏を逃した相手に「リーグ終盤のあそこで岐阜に負けたのが……」って思わせてやろうじゃないのさ。(吉田铸造)

【第 34 節】栃木 SC 1-2 岐阜

●非常にタフなゲームだった。序盤から栃木のハイプレスに苦しめられ、自分たちのミスから PK を献上し、先制を許す。正直前半は山谷侑士の右サイドの突破くらいしか現状期待が持てない状態だったかな。先に 2 点目を取られたら、このゲームは厳しくなると思わざるを得なかった。

そして後半、その山谷から川本梨誉への交代。この交代は当初疑問符が付いたものだったが、結果的にチームを活性化させたと思う。労を惜まず攻撃に守備に走り回って、栃木 DF にプレッシャーをかけ続けた。そんな中で生まれた荒木大吾の同点ゴール。山田直輝のヘディングが栃木 GK 川田修平に弾かれたのを、ゴールラインギリギリで泥臭く押し込んだ。川田はラインを割ってないと上手く誤魔化そうとしたが、副審がゴールライン上でしっかり見ていて、ゴールを示す旗をサッと上げたナイスジャッジであった。

そして福田晃斗の逆転ゴール。ワンタッチで上手く裏抜けして、GKの動きを見ながら落ち着いて決めた。AT、栃木のヘディングがクロスバーを叩くヒヤリとする場面もあったが、守り抜いて勝利！選手交代が効果的に好結果をもたらしたといえる。

これで完全に降格回避、残留確定。残り4試合、全部勝つ勢いでひとつでも上の順位を目指していこう！（岐阜の誇り）

●上位チームに、強度の高いプレスでやられた岐阜。さて栃木SCには……と思ったら、栃木も素早く強度の高いプレス。うーん、これが対岐阜必勝法として定着してるのか、それとも現在のサッカーの潮流だからなのかと思ってたら。相手のプレスに対して、岐阜の選手たちは前向きに打開することも、大きく蹴り出すこともできず、自陣に押し込められてしまう。すると何を考えたのか、相手のプレスが掛かっているのに自陣のPA内にボールを運び（思わず声が出ましたよ）、簡単にボールを奪われ、相手を倒してPK献上……（溜息）。いや、これほど『献上』という言葉が相応しい一連のプレーを、僕は見たことがないですよ（怒）。本当に猛省……で済ませていいのかしら。あと、PKを蹴る選手が右利きなんだから、GK#1茂木秀は（GKから見て）右に飛んで欲しかった。あの場面で逆に蹴れる選手って、J3にはなかなかいないと思います（苦笑）。

先制された後も鹿児島戦と同じように、相手のプレスにボールを持たされて横や後ろに回し、隙を突かれてカウンターを浴びる展開。もちろん鹿児島ほど強度が強くないけれど、その似たような流れと、謎なジャッジでたびたび試合が止まるので、イライラが溜まる展開に。後半には選手交替などの戦術修正で、徐々に岐阜の攻撃が活性化してゆくけれど、なかなかゴールは生まれない。だけど、後半30分過ぎになって急激に試合が動いた。負傷者の影響もあって、栃木が後半25分で交代枠を使い切ったのが、その切っ掛けだったと僕は思う。後半33分、#22文仁柱のクロスで#15山田直輝がヘッド、これを相手GKが片手で弾いたけど、投入されたばかりの#8荒木大吾が詰めて、泥臭く押し込んで同点弾！まあ、#15ヤーマンのヘッドが決まると美しいゴールだったけど、1点の価値は変わりません（笑）。そして後半40分、#29川本梨誉のワンタッチパスでフリーになった#97福田晃斗が、鋭くPA外からシュートを撃ち、見事にコースを捉えて逆転弾！いやー、あれを撃てる#97晃斗って、ちょっとレベル違うわ。まあ、その後の守りの時間は、ちょっとしんどかったですけどね（苦笑）。後半ATのヘッドがクロスバーに当たったときはビビりました（苦笑）。でも、「勝てばヨシ！（なのかな？）」。カンセキは全周屋根ありスタジアムなので、声が良く響く。ホーム側が静まりかえるアウェイで、朗々とアイダを歌う、この心地よさときたら（笑）。ちょっとアクセスに難があるけど、流石は最新のスタジアム、また来たいですね。これで連敗を止めた。だけど、この後も厳しい対戦相手が続くし、簡単な試合なんてある訳ない。目の前の一戦に集中して、勝利を積み重ねて欲しいです。（ささたく）

●この試合もDAZN観戦。なかなか、流れが掴めないなあという展開に焦ったワケじゃないだろうけど、とても残念なミスからのPK献上。どうして、後ろから短く繋ぐやり方にてこだったのかな？前々節からの負の流れが断ち切れないなあと思ってたら、後半の選手交替が効を奏してウチらしからぬ逆転勝ち。このところ、苦渋を舐めさせられていた上位のクラブ相手に最高の結果を出してくれた。ありがとう！選手、スタッフ＆現地組。

しかし、亮や龍磨を下げていいの？とか思ってたら逆転。しかも、代わりに出てきた直輝と大吾が活躍するとか、用兵ピンズドでしたね！コレが用兵というヤツか。恐れ入りました。決勝点の晃斗のシュートも素晴らしい。まさか、あの、僅かな（に見えた）隙間から勢いのあるシュートを撃つなんて。しかも、ギリギリGKが届かないコース。やっぱり、ちょっと違うよね。眼福でした。それと、脚を目いっぱい伸ばして

パスを繋いだのはリヨかな？ありがとう！

あ、しかし、ラストの時間稼ぎはもう少し、上手にさ、やれるといいな。クロスバーに救われたね。こちらにもお礼を言わなきゃだ。とにかく、これで残留確定のはず。そこは素直に喜びたい。お疲れ様でした。ありがとう。

さて、今節、次節と長良川連戦。この時季のナイト・ゲームは……と思うけど、アツイ試合を期待してます！（ぐん、）

●一緒に観戦していた栃木SCサポの友人は岐阜に対して辛辣だった。「7連勝を果たしたチームとは思えん」「（サッカーが不甲斐なくて）自分が岐阜サポでなくてよかった」とまで言っていた。いつもなら敗戦も潔く受け入れるその彼が試合後に「堪えた……」と言っていたので、よほど堪えたのだろう（苦笑）。

実際、前半の岐阜は相手サポが調子こく（苦笑）のも納得の試合運びで、「これが」（昇格プレーオフという）目的のあるチーム（栃木SC）とないチーム（岐阜）の差か……」と思ったよ。でも、鹿児島戦では相手に修正されて劣勢になった岐阜が、この試合では修正することで劣勢をはねのけた。特に、西谷に代えて（ドウドウではなく）大吾を入れたのは慧眼だった。一方、栃木SCはDFの負傷で交代枠2枚を使わざるを得ず、劣勢になった時には交代枠を使い切っていて、「指示する以外には何も出来ない、いまいる選手頼むぞ」で試合を進めるしかなかった。アキトの決勝点は、火力で劣っていても、まさに「そこは戦術と腕かな。（ニヤリ）」って感じの狙い撃ちだった。お見事。ま、最後の相手ヘッドのクロスバー直撃は怖かったけれど、まあ、相手のシュートなんざ「入らなければどうということはない！」んですよ（笑）。

これで、晴れて残留確定。とりあえず栃木SC相手に場を乱すことは出来た。まだまだ、J3ラストシーンで目立ってやりましょう。（吉田鑄造）

現時点の JFL の状況。

●いろいろ動きはあったけど略。残り3試合の順位表です。

1位：Honda	勝ち点 54	
2位：滋賀	勝ち点 54	ライセンス取得 2,200人
-----J3 昇格ライン-----		
3位：青森	勝ち点 47	ライセンス取得 1,946人
4位：浦安	勝ち点 45	

ヴェルスパ大分の2位以内の可能性がなくなり、J3昇格争いはレイラック滋賀とラインメール青森の2チームに。とはいえ、青森が2位以内に入るには3試合で勝ち点7を縮める必要があるの、実現可能性は低いでしょう。つまり、Honda FCが2位以内（＝J3の19位は自動残留）となる可能性は極めて高いです。

問題は2位の滋賀。首位のHondaとは得失点差で9も遅れを取っているの、もし滋賀が3連勝を果たしてもHondaも3連勝すれば得失点差をひっくり返すのは難儀。Hondaが勝ち点を落とすのを願いつつ自分たちは3連勝するしか自動昇格への道はありません。果たせなければ、J3最下位（現時点では沼津の可能性が高い）との入替戦です。

気になる「残りの対戦相手」ですが、Honda、滋賀の両チームともに横河武蔵野とプリオベッカ浦安・市川との試合を残しています。まさに、FC岐阜がJ3で上位陣との戦いを残しているというような状況にいるのが浦安なわけです。JFLでも『日程くん』は素晴らしい仕事をしますね。浦安次第で、J3最下位に入替戦のラストチャンスが巡ってくるかどうかが決まると言っても過言ではありません。（編集人・吉田鑄造）

FC岐阜 2025応援曲(チャント)・手拍子(クラップ)・コール集

■チームチャント【選手入場時】
※タオルマフラーや旗、サートフラッグ等を掲げて選手を迎えましょう。

■日曜日よりの使者(ザ・ハイトウズ/日曜日よりの使者)
We are 岐阜 We are THE GIFU ラララー ラララー
We are 岐阜 We are THE GIFU ラララー ラララー(ギ・フ！)

■チームコール
1) エフ！ シー！ ギフッ！！ ● ● ● ● ●
2) ヴィー！ アー！ 岐阜！ ● ● ● ● ●
3) バ！モ！ 岐阜！ ● ● ● ● ●

■タオル振りチャント ※タオルマフラーや旗を振りながら歌いましょう。

■モリヤマ(GULTURE CLUB/Karna Chameleon)
エーフ シー ギフ ゲットゴール！ ゲットゴール ゲットゴーオーオーー！

■アレ岐阜
アレアレー アレアレー アレアレ岐阜アーレー
アレアレー アレアレー アレアレー

■チームチャント
■FC岐阜 We Love You (水森亜土/すきすきソング)
オットオオーオオ オットオットオオーオオ オオオオー (FC岐阜！) ※繰り返す
FC岐阜 FC岐阜 We Love You (オイ！オイ！オイ！オイ！オイ！)

■サムズアップ(KEMURI/THUMBS UP！)
さあ 声を張り上げろ 勝利掴む(つかむ)ため
みなぎる アツイ 魂(たましい) それが 俺たち 岐阜

■情熱を燃やせ
情熱(じょうねつ)を燃やせ 勝利のために
オー オーオオオ オオオオ オオオオー オーオーオオー

■エンターテイナー(S.JOPLIN/The Entertainer)
さあ オーオオーオオオー Oh エフシ 岐阜アーレー ※繰り返す
さあ 胸を張って 戦おうぜ 緑の勇者(ゆうしゃ) アーレー

■俺らは歌う
ラララ俺らは歌う 岐阜の誇り(ほこり)胸に
友の勝利を信じ 熱く声を響かせるのさ

■ナダレ(Vago y Atrorrante)
バモ岐阜バモ 友よ さあ行こう ナダレろ 暴れろ われらと
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今戦おう

■負けられない戦い(PET SHOP BOYS/Go West)
オーオー！ バモ岐阜 オレ オーオー！ バモ岐阜 オレ
負けられない戦い 魂(たましい)込め 戦え

■情熱を胸に(オリジナル)
燃えたぎる情熱(じょうねつ)をー その胸に持ち 戦え
恐れず(おそれず)前を向き ゴールを奪え(うばえ)ー

■ラララ岐阜(フライブルク)
ララララーラーラー ララララーラーラー
ララララーラーラー ララララーラー ラララー 岐阜！

■アツク闘え
オーオー オオオ 友よ さあ 俺達ととーもーにー
オーオー オオオオ 友よ アーツク 闘えー

■俺たちと共に(オリジナル)
オーオー エフシー岐阜 おーれーたーちと とーもーにー
オーオー エフシー岐阜 すべてをかけー たたかえー

■誇り胸に(Hay che bostero)
俺達が 共にいる どんな時も お前と
今ここで みせろ岐阜 誇り(ほこり)胸に 戦え

■我ら岐阜(Ismail Hakku bey/トルコ軍隊行進曲: Ceddin Deden)
WE ARE GIFU WE ARE GIFU ラララー ラララー
おお友よ いざゆかん時が今ここに さあ誇り(ほこり)高き われら岐阜

■フェネル
(飛び跳ね)ラ・ラ・ラ WE ARE GIFU ラララ WE ARE GIFU
ラララ・ラララ・ラ・ラ・ラ
(拳突き上げ)オオオ WE ARE GIFU 愛を込めて 走れ俺らと共に
■輝け(オットー・イン・ライミ／The World is ours！)
(腕振り)さあいこう オオ ここで輝け WE ARE GIFU
最高の瞬間(とき)を 共に刻もう
(飛び跳ね)オオ オオ オオ オオオオ オオオオ オオオオ オオオオ オオオオ
オオ オオ オオ オオオオオ オオオオオ オオオオ オオオオ
(手拍子)[● ● ● ● ●]×4回

■ザンクトパウル
ララララーラーララ ララララーラーララ
ララララーラーララ フォルツァ 岐阜 フォルツァ 岐阜

■漢なら(オリジナル)
共にいこうぜ われらと ララララーラーラー
共に闘え(たたかえ) われらと ララララーラーラー
勝利をつかめ きみが漢(おとこ)なら
バモ バモ GOLAZO(ゴラツソ)！ ララララーラーラー

■ケルン
オーオーオオ オオオオー オーオオオオオ オオオオー
さあ行こうぜ We Are GIFU しよーりつーかもう とーもーにー
(＊)歌詞と「オ」で歌うフレーズは、それぞれ2回ずつ繰り返す。

■FORZA FC岐阜(アメリカ民謡/When Johnny Comes Marching Home)
ラーラ ラララーラ ラララー ラララー ラララーラ ラー
フォルツァ FC岐阜！ フォルツァ FC岐阜！
フォルツァ 岐阜 フォルツァ FC岐阜！

■Boys In Green(Basshunter/I can walk on water, I can fly)
魂(たましい)尽きる(つきる)ーまで 駆けろ(かけろ)星へ友よ
勇気(ゆうき)胸にー抱き(だき) 信じてーいるBoys In Green
(＊)最初はこの歌詞で拍手し、次は「ラ」で歌い跳ねる。繰り返し

■勝利のチャント ※試合に勝った喜びを、高らかに歌いましょう。

■アイーダ(郵便行進曲)(Giuseppe Verdi/Grand March (from aïda))
オーオー オオオオオットオット オオオオオオーオオ オオオオオー
FC岐阜！ FC岐阜！ FCぎーーーっふ！

■ハイパーチャント 試合終了後ver.(cinema staff/HYPER CHANT)
駆け(かけ)上がる 深い緑の上 その足を回し続けて
いつまでも 誇り(ほこり)高いままで この旗を掲げ(かかげ)続けよう

■俺らの誇り
オーオオー 俺らの誇り(ほこり) オーオ オオー 岐阜の誇り(ほこり)

■勝利の賛歌(オリジナル)
WE ARE GIFU 共に われらは 歌う
WE ARE GIFU ここに 勝利の賛歌(さんか)を
緑の友を われらは誇り(ほこり)
歓喜(かんき)の叫びで 大地よ震えろ(ふるえろ)
勇ましさ(いさましさ) われら岐阜 絆(きずな)よ 永久(とわ)に オーオー

1 GK 茂木 秀(もぎしゅう) 【も！ぎ！しゅう！】
アツい気持ち 茂木秀 フフフフー 茂木秀 立ちばだかれ 茂木秀 ララララー 茂木秀

3 DF 野澤 陸(のざわりく) 【の！ざ！わ！】
野澤陸 アツいタマシイ 野澤陸 ララララー

4 DF 甲斐 健太郎(かい けんたろう) 【か！い！けん！たろう！ ● ● ● ● ●】
岐阜の漢 甲斐健太郎 共に行こう 甲斐健太郎

5 DF 石田 峻真(いしだ りょうま) 【いしーだ！りょうま！ ● ● ● ● ●】
峻真！ 石田峻真 石田峻真

6 MF 井川 空(いかわ そら)【いがわ！ ● ● ● ● ●】

7 MF 中村 仁樹(なかも りょう)【じろう！ ● ● ● ● ●】

8 MF 荒木 大吾(あらき だいご)【だいご！ ● ● ● ● ●】
荒木大吾 切り裂け 大吾 大吾ゲットゴール 大吾

9 FW ドウドウ(Luiz Eduardo Dos Santos Gonzaga) 【ドウドウ！ドウドウ！ ● ● ● ● ●】

10 MF 北 龍磨(きた りょうま)【きた！りょうま！ ● ● ● ● ●】
ララララーララ 北龍磨 ララララーララ 北龍磨

14 MF 生地 慶亮(おいじ よしあつ) 【おいじ！ ● ● ● ● ●】
生地慶亮 オーレ 勝利追い求め この地 走れ

15 MF 山田 直輝(やまだ なおき) 【やまだ！なおき！ ● ● ● ● ●】
山田直輝 ラララララ 大切なのはいつも今 ラララララララララ 最後のー秒まで全力で

16 MF 西谷 亮(にしたに りょう) 【にしたに！りょう！ ● ● ● ● ●】
西谷亮 ラララ ラララー 俺達と共に

17 FW 長井 結矢(ながい ゆうや) 【ながい！ ● ● ● ● ●】

18 FW 山谷 侑士(やまや ゆうし) 【やまーやゆうし！ ● ● ● ● ●】

19 MF 松本 歩夢(まつもと あゆむ) 【あゆむ！ ● ● ● ● ●】
突き抜ける歩夢 松本歩夢アレ ラララララ ララ ララララ ララ

20 DF 加藤 慎太郎(かとう しんたろう) 【かとう！ ● ● ● ● ●】

21 GK 山口 敬良(やまぐち せら) 【やまぐち！せら！ ● ● ● ● ●】

22 MF 文 仁柱(むん いんじゅ) 【むん！いん！じゅ！】
オー ムンビュアレ オーオー！ムンビュアレ オー 誇り胸に オーオー！ムンビュアレ

23 DF 萩野 滉大(はぎの こうだい) 【はぎの！ ● ● ● ● ●】
萩野 滉大 萩野 滉大 オオオーオオー

25 FW ブヴイク・ムシディ・オ(Bevic Mousiti-Oko) 【オコ！オコ！ ● ● ● ● ●】

26 DF 大串 昇平(おおぐし しょうへい) 【おおぐし！ ● ● ● ● ●】

27 FW 横山 智也(よこやま ともや) 【ともや！ ● ● ● ● ●】
共に行こうぜ 岐阜の宝 横山智也 オオオオ オオオオ その足でさあ切り拓け

28 MF 箱崎 達也(はこざき たつや) 【はこざき！ ● ● ● ● ●】

29 FW 川本 梨晝(かわもと りよ) 【かわもと！ ● ● ● ● ●】

30 DF 湯峯 渥生(ゆみね こうき) 【！ ● ● ● ● ●】

31 GK セラントス(SERANTES) 【せ！ランテス！】
ジョン・アンデル・セラントス オーオーオーオーオー ジョン・アンデル・セラントス オーオーオーオー

32 FW オウエイ・ウィリアム(OWIE William)【ウィリー・ウィリー・ウィリー！ ● ● ● ● ●】

33 DF キム・ユゴン(KIM YU GEON) 【キム！ユ！ゴン！ ● ● ● ● ●】

37 DF 寺阪 尚悟(てらさか しょうご) 【てらさか！ ● ● ● ● ●】

39 MF 泉澤 仁(いずみさわ じん) 【い！ずみ！さわ！】

40 DF 平瀬 大(ひらせ だい) 【ひらせ！ ● ● ● ● ●】

42 MF 屋敷比 美汰(やか比 かなた) 【！ ● ● ● ● ●】

50 GK 後藤大輝(ごとう だいき) 【ゴツツ！ ● ● ● ● ●】
後藤大輝 ララララ ララ 後藤大輝 ララ ラララ 立ち向かえ 後藤大輝 ラララ

55 DF 外山 凌(とやま りょう) 【と！やま！りょう！】
外山凌 オオオ 外山凌 強い気持ちで駆け上かれ オオオ 外山凌 オオオ

97 MF 福田 晃斗(ふくだ あきと) 【ふくーたあきと！ ● ● ● ● ●】

監督 石丸 清隆(いしまる きよたか) 【いしまる！ぎふ！ ● ● ● ● ●】